



## 第2回 学校・家庭・地域をつなげる地域合同防災学習

9月9日(土)、昨年度に引き続き、2回目の地域との合同防災学習が行われました。前半は、各学級での防災学習を担当が行い、後半には地域の各種団体の指導の下、9つの防災訓練を実施しました。今年度は学級ごとの活動ではなく、地区ごとに活動を行いました。もし本当に災害が起こった時には、自助(自分を守る)、共助(周りの人と助け合う)が大切です。「共助」という点で、今回のように自分の近くに住んでいる人たちと協力しながら活動することは、意義のあることだと思います。保護者の皆さんの中には、地域の方と交流できてよかったという振り返りもたくさんありました。今後も学校・家庭・地域がともに活動できる場を大切にしていきたいです。

今回の事前アンケートや振り返りシート等を下記に掲載しますので、今後の家族での話し合いにご活用ください。

### 1 事前アンケートの集計結果について 「はい」と答えた割合

質問	児童	保護者
1 災害時に避難する場所を家族で話し合っているか。	42.8%	72.0%
2 非常持ち出し袋を準備しているか。	42.6%	46.6%
3 ハザードマップを家で見たことがあるか。	45.6%	92.9%



質問	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	12%	38%	30%	59%	53%	53%
2	11%	30%	39%	54%	44%	65%
3	6%	26%	24%	68%	52%	74%

【児童が「はい」と回答した各学年の割合】

保護者:昨年度と比較して、「はい」の割合が高くなりました。

児童:2~4年の「はい」の割合が、大幅に高くなりました。昨年の学習の成果が表れていると感じます。

### 2 災害がおきた場合の避難場所について

家族と話し合っていると回答した保護者は、72%でした。避難場所については、家庭で話をしている保護者は多いようです。しかしながら、児童は42.8%で差があります。また、低学年になるほど、話をしていないという結果になりました。この結果は昨年度も同様であり、保護者は伝えたと考えていても、忘れていたということがあるのではないかと予想されます。また、実際「はい」と回答した中で、「場所は覚えていない」という児童が多かったです。繰り返し、何度も防災について学習したり、家庭で話し合ったりする必要性を感じました。

### 3 非常持ち出し袋について

用意している家庭は46.6%、児童は42.6%で、昨年度から割合が高くなりましたが、まだ用意していない家庭が多いようです。避難所に行っても、すぐには食料の提供が受けられないこともあります。まずは、家庭で備えをしておきたいものです。

### 4 ハザードマップを確認している

保護者は92.9%と非常に高い割合になっています。本校区は、浸水被害が多くなると予想されているので、保護者の方の関心の高さが分かりました。児童は45.6%と昨年度より割合が大幅に高くなりました。児童の声を聞くと、自分の住んでいる地域は、水害が起こりやすいことを理解している児童が増えていると感じます。

### 5 通学路の確認について

自分の命を守るために、通学路の点検を行うことは大切です。「用水路が多いので、大雨であふれるかもしれない」「ブロック塀が多いので、崩れるかもしれない」など危険な所や「SOSの看板の位置が確認できた」など身の安全を守ってくれる場所を確認できていました。

## 6 学習参観と地域合同防災訓練について

学習参観では、災害時の身の守り方や、備えについての防災学習の授業を行いました。また、地域合同防災訓練では、9つの体験を、多くの団体の方のご協力のおかげで行うことができました。



【低学年 防災学習の様子】



【中学年 防災学習の様子】



【高学年 防災学習の様子】

### 【協力してくださった団体】

活動内容	担当団体
煙のトンネル・起震車	東消防署
AED体験	広報指導分団
簡易担架づくり 土のうづくり	古高松消防分団
水消火器消火体験 バケツリレー	女性防火クラブ
簡易ベッドづくり	日赤奉仕団
簡易トイレづくり	自主防災会
地区の誘導	自治会
児童との活動	歩き人



【AED体験】



【簡易ベッドづくり】



【水消火器消火体験】



【煙のトンネル体験】



【土のうづくり体験】

## 7 事後の振り返りについて

### <児童の振り返りより>

- ・防災グッズの中に入ると安心なものが分かりました。
- ・大きな建物の近くにいると危険があると分かりました。
- ・自分たちでできることをしようと思いました。
- ・南海地震に備えて、非常食の準備をしたいです。

### <保護者の振り返りより>

- ・準備や計画や、仕事をしてくれる人に支えられた1日でした。ありがとうございました。
- ・1年生から6年生、近所に住む大人もまじって体験できる機会がとてもよかったです。
- ・防災について、不安に思うことがあったので授業や訓練で知識を付けられてよかったです。
- ・身の守り方について、分かりやすく授業で勉強できました。
- ・災害時には、自分にできることは何かを考えて、周りの人たちと協力して、助け合うことが大切だと分かりました。
- ・日頃から防災についての対策を家族で話し合っていきたいと思いました。



【バケツリレー】



【簡易担架づくり】



【簡易トイレづくり】



【起震車体験】

本校区は、新川・春日川の下流域で海にも面した土地の低い地域と、山や池もある自然災害が起こりやすい地域に立地しています。学校での防災訓練に地域の教育力をお借りして、学校・家庭・地域が協働して「地域合同防災学習」をすることにより、防災意識を高める機会は、みんなにとってよい経験となりました。参加してくださった保護者の皆様、また、この学校行事を支えてくださった地域の協力団体の皆様、本当にありがとうございました。

(文責:教頭 川口)